



頑張っています!

# Graduate 卒業生



**トスコイ大翔灘**  
**藤山 駿さん**  
平成21年度本校卒  
(須佐中学校出身)

みなさんお元気ですか?  
相撲部屋に入っ  
てまず驚いたこと  
は、街でいろいろな

人に声をかけられたり、写真撮影を求められたりすることです。我が追手風部屋の中で一番強いのは、幕内の「遠藤」関です。私生活ではみんなフレンドリーな感じで、仲良く精進しています。食事は一日に昼と夜の2食ですが、焼肉を5時間食へ続けたこともあります。海のきれいな魚がうまい故郷へ帰る前の場所は、負け越せないです。自分にとっては、故郷もプレッシャーかな(笑)。でも、それをバネにして成長できるのだと思っています。

辛いときはもちろんありますが、高校3年間、柔道でやってきたことすべてが支えであり、自信となっています。柔道部の厳しい練習時代があったからこそ、今の自分があると感謝しています。自分より強かった人に追いつき、勝てるようになった時が楽しいです。自分が人の目標になれるような、そんな力士を目指して、とりあえずは十両を狙います。

高校生の皆さん勉強でも部活動でも何でも、努力したことは必ずどこかで返ってくるので、自分に妥協しないで精一杯がんばってください。

(本校在学時、全国大会出場、  
県選抜代表で韓国遠征)



**新設大田西中学校で教鞭**  
**山本晴香さん**  
平成18年度本校卒  
(三隅中学校出身)

私は高校2年生の時、陸上部から美術部に転部しました。人間関係やプレッシャーからくるストレスで、心身が不安定になってしまったからです。先生や友人に励まされ、支えられながら、陸上と同じくらい好きだった美術を始めることにしました。最初はやはり気持ちの整理がつかず、美術部の活動を中途半端にしてしまったこともありました。そんな時、「本気になれ」と美術部顧問寺井先生に叱られ、嫌なことから逃げている自分が情けなくなり、その場で泣いたことを今でも覚えています。先生の言葉があったからこそ、私は今でも好きな美術を続け、美術に関わる仕事ができているのだと思います。好きなことに本気で向き合い、楽しむこと。これが、美術教師になった今の私の教訓です。

島根大学では、美術教育の基礎的な知識や技能を学びました。様々な学習を通して、私は自分で絵を描くことよりも、美術を通して、子どもたちが感じることに興味をもちました。現在は中学校の生徒たちに美術指導をしていますが、この私もそうであったように、やはり生徒の心身の変化は大きく、大変な時期だと感じます。だからこそ、そんな生徒たちの支えとなるような教師になりたいと強く思います。辛いことがあっても、苦しいことがあっても、私はもう逃げません。逃げないで、泣きながらも向かっていった後の自分に残ったもの、それが何かを知っているからです。これからも、教師という仕事に誇りをもちながら、本気で生徒たちと向き合っていきたいと思っています。

(本校在学時、陸上部:4×100MR全国大会出場、美術部:第40回島根県展デザイン部門入選)



## ボランティア 国際ソロプチミスト 益田25周年記念公演



4月27日(日) グラントワで地元合唱団とフォレスタ(BS日本・こころの歌でおなじみのコーラスグループ)の声が響き渡った。益田市ジュニア合唱団には、本校生徒も出場していた。受付や会場入り口には、本校生徒会執行部員6名がボランティアで、陰の力となって動いた。「ごゆっくりお聴きください。」と言って、切符を切り取って渡してくれた、生徒の笑顔がさわやかで印象的だった。

## ボランティア ますだ万葉まつり お茶席お運び



あいさつ日本一を目指して  
4月29日(火) 小雨に煙る中、益田市の万葉公園で「ますだ万葉まつり」が開催された。こちらでも生徒会執行部員5名が、お抹茶と手作りの桜餅を客席まで運んだり、雑貨を販売したりと、笑顔でボランティアに精を出した。本校でのあいさつはもちろん、地域の皆さまへ交わすあいさつも素晴らしいものになるようにと、率先垂範で頑張りました。

## 益田東高等学校 保護者の皆様も 歓迎いたします。

# 夏季体験入学会

## 7月5日(土)



受付 8:00~

体験学習、校内見学ツアー

- 普通科
- 自動車科

部活動体験(希望者) 13:00~14:30

秋季体験入学会10/4(土) 英語コンテスト11/14(金)

参加者全員に  
「国語慣用句入り下敷き」  
プレゼント!

昼食用意  
しています。



難聴のピッチャーに  
野球部全員で  
手話と指文字



難聴のピッチャーだけに、健常者よりも不自由なことは多い。野球部員81名みんなで指文字を覚え、手話なども取り入れて、お互いの意思疎通を図っている。弱いところは補って強くしていく。支え合って工夫をして、難関を突破していく野球部員の心は、みんなホットな心が渦巻いている。「無駄になる努力はない(川上哲治)」。必ずこの努力が、いつかどこかで花開くときが来るはずだ。(4/16「NHKしまねっ」と放映)



2年 大羽健太郎 (益田)



出張弁論で自信と力を  
弁論発表の後に余興を取り入れ、福祉施設や中学校、また各種団体へ出向いて、10分程度の出張弁論をして自信をつけている。余興は、武田鉄矢・井上陽水・福山雅治・松山千春などのものまねで、これが実にウマイ。みんなの笑顔を求め、世界中の人が笑顔になれることを願っている、という弁論の主張を自分の眼と足で実践している。



全国高等学校総合文化祭 いばらぎ大会2014  
創造の心を咲かせよう  
弁論 8回出場  
茨城県土浦市  
7.27~31 於土浦市民会館

7月発表の  
特別賞候補に!



3年 福嶋 竣 (松崎)



3年 長谷川大地 (登美丘)

★みかんの木  
★こころぎや  
★草むらたちも  
★はるかに香る  
★坂の道  
★ハーモニ  
(長谷川)

伊藤園  
おいしいお茶  
新俳句大賞 二次審査3句通過